

| | | |
|--|---|---|
| <p>1. 過去の競争環境のレビュー</p> <p>規制緩和の電気通信市場の自由化、電気会社の経営合理化、国に於いては各種規制緩和や制度改正等が電気通信市場の公正競争にもたらした結果等を検証。</p> | <p>3. ICT産業全体の国際競争力強化</p> <p>少子高齢化による国内市場の縮小を懸念し、新たな市場を模索する観点から、コンテンツ事業、サービス等を含む幅広いICT産業の業種によるグローバル市場でのグローバル展開を促進する方策を検討。</p> | <p>グローバル時代におけるICT政策 に関するタスクフォース 地球の課題検討部会</p> |
| <p>2. 電気通信市場の環境変化への対応</p> <p>多化、ブロードバンド化、モバイル化等迅速且び多岐の市場環境の変化を踏まえ、グローバルな視点から市場のさらなる発展に向けた課題の解決方策について検討。</p> <p><検討の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> -今後の電気通信市場の将来像 -競争促進、ユニバーサルサービス制度のあり方 -国際競争力の強化、消費者の権利保護のあり方 | <p>4. 地球の課題等の解決への貢献</p> <p>経済、環境の視点に基づき、環境問題や資源問題といった世界共通で直面している地球の課題について、コンテンツの豊かな流通を促すICTの活用により、全ての人が安心して生活を享受できるように解決方策を検討し、東アジアのAPCに国際社会等の場で提示するなど、リーダーシップを發揮する。</p> | |

地球の課題検討部会におけるアプローチ

2009年11月27日

NRI 野村総合研究所
シニア・フェロー
村上輝康





グローバル時代におけるICT政策
に関するタスクフォース
地球的課題検討部会

地球的課題検討部会におけるアプローチ

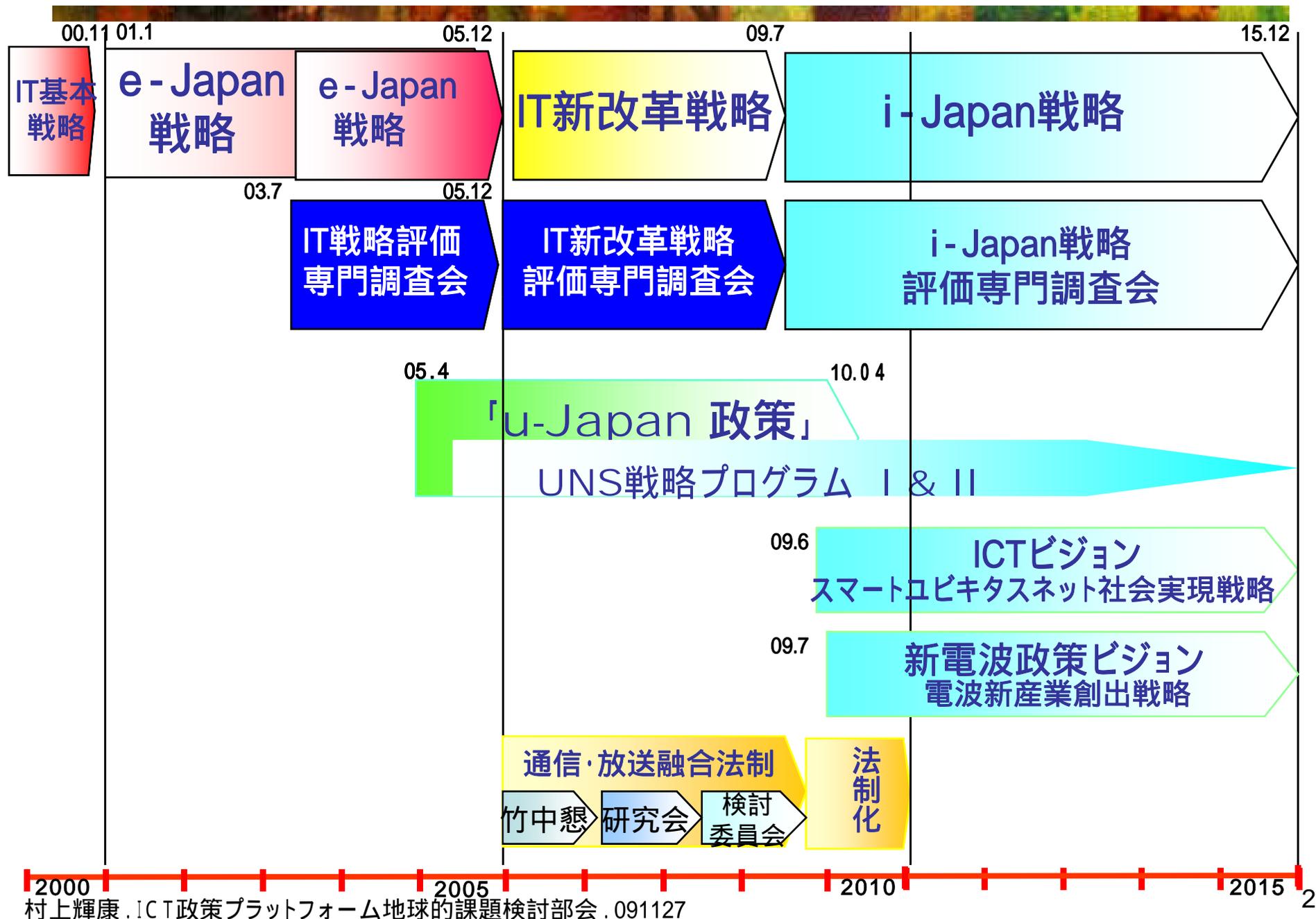
1. ICT政策についての現状認識

2. 「医・食・住」の21世紀型社会システムの確立 (by the ICT)

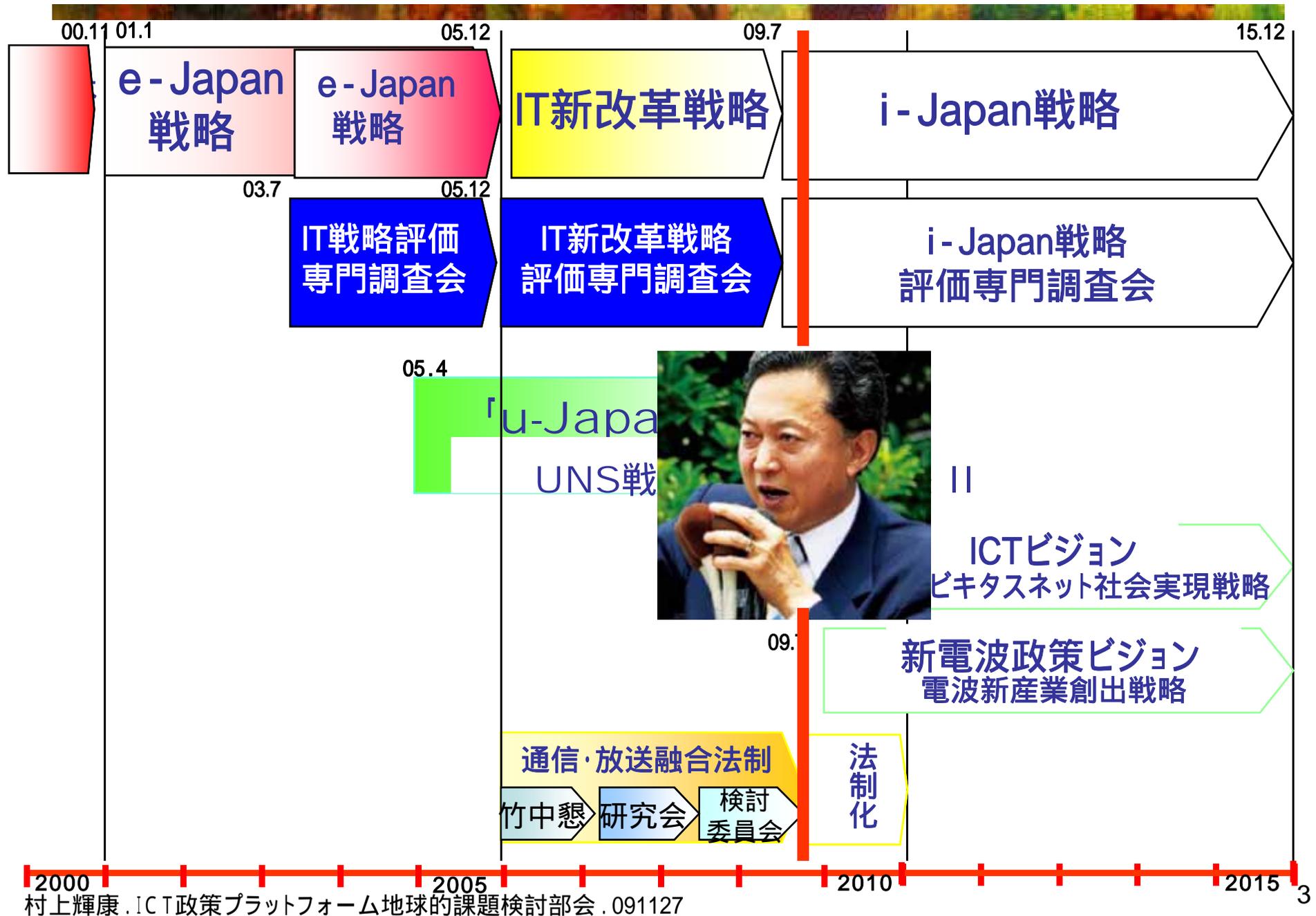
3. オープン・グローバル・ユニバーサル (of the ICT)

4. 産官消関係 - 産消融合・官消同期 (for the ICT)

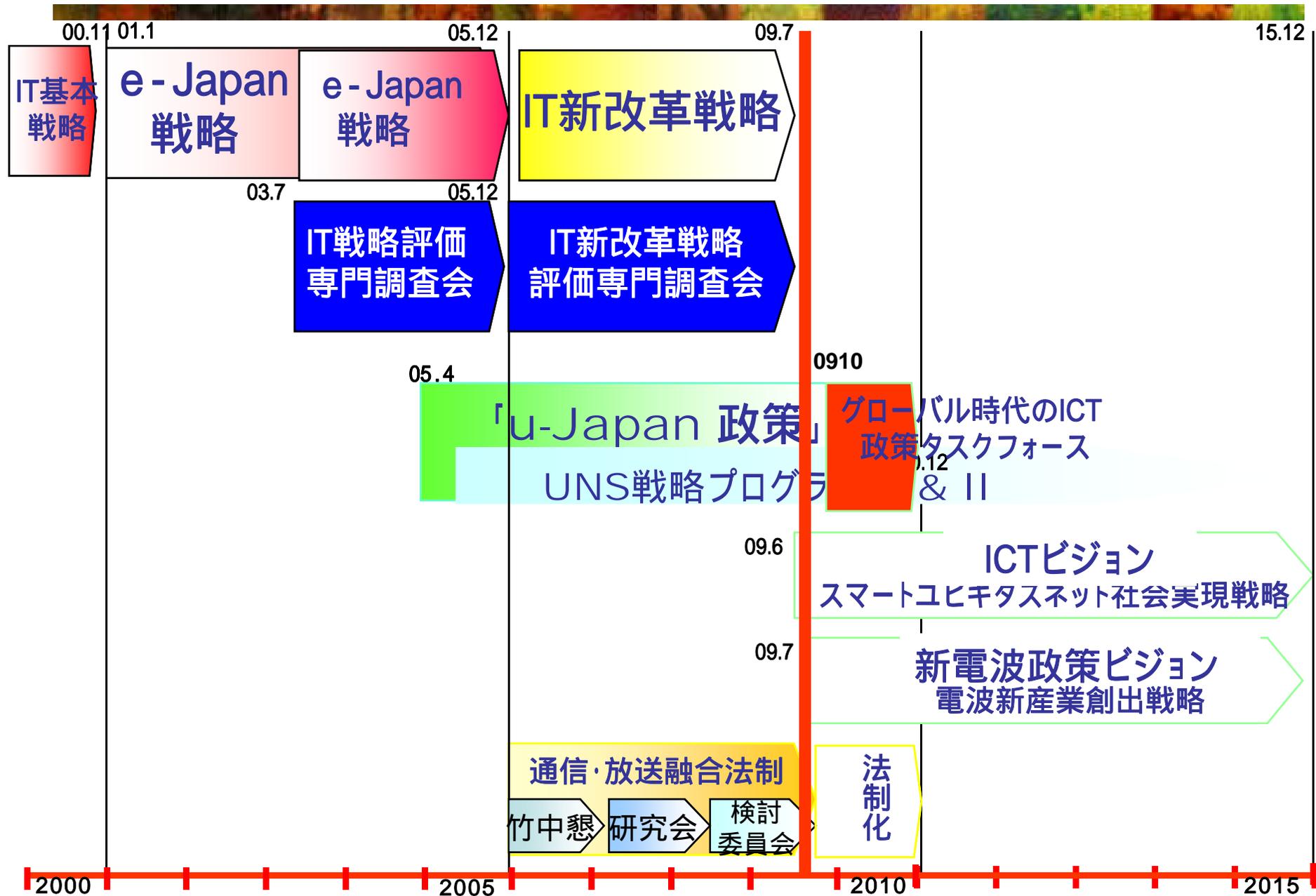
2009年7月段階の国家IT戦略の体系



2009年8月30日段階の白紙に戻った国家IT戦略



2009年11月段階:ICT政策タスクフォース発足

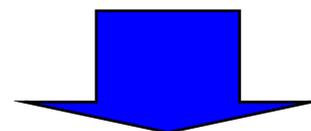


地球的課題への挑戦 by the ICT, of the ICT, for the ICT

1863年

ゲティスバーグ

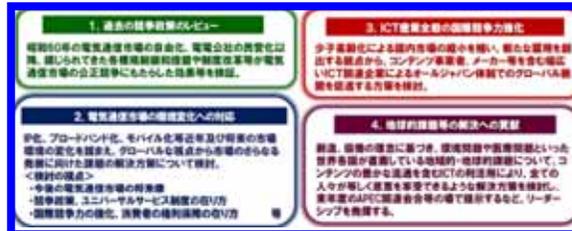
government of the people,
by the people,
for the people,



2009年

霞ヶ関

地球的課題への挑戦 by the ICT,
of the ICT,
for the ICT.



グローバル時代におけるICT政策
に関するタスクフォース
地球的問題検討部会

地球的問題検討部会におけるアプローチ

1. ICT政策についての現状認識

2. 「医・食・住」の21世紀型社会システムの確立 (by the ICT)

3. オープン・グローバル・ユニバーサル (of the ICT)

4. 産官消関係 - 産消融合・官消同期 (for the ICT)

ICT政策の重点分野の抜本的变化

重点分野：電子政府・医療・教育
ICT利活用革新

パラダイム
転換

IT新改革戦略・評価専門調査会の重点検討分野

2008年度報告書 [[本文\(PDF\)](#)]

- 資料1: [医療評価委員会 報告書](#)
- 資料2: [電子政府評価委員会 報告書](#)
- 資料3: [特別テーマ評価検討委員会 報告書](#)
- 資料4: [「重点計画－2008」の進捗度評価\(フォローアップ調査\(見込み\)\)](#)
- 資料5: [環境分野のアンケート調査結果](#)
- 資料6: [2007年度報告書指摘事項の「重点計画－2008」への反映状況](#)

2007年度報告書 [[概要\(PDF\)](#) / [本文\(PDF\)](#)]

- 附属資料1: [医療評価委員会 報告書](#)
- 附属資料2: [電子政府評価委員会 報告書](#)
- 附属資料3: [教育・人材分野 活動報告](#)
- 附属資料4: [IT経営・テレワーク分野 活動報告](#)
- 附属資料5: [重点計画－2007 進捗状況調査結果](#)
- 附属資料6: [本編掲載以外の、各分野見える化シート](#)

2006年度報告書 [[概要\(PDF\)](#) / [本文\(PDF\)](#)]

- 附属資料1: [医療評価委員会 報告書](#)
- 附属資料2: [電子政府評価委員会 報告書](#)
- 附属資料3: [政府自己評価アンケート結果\(2007年1月時点\)](#)
- 附属資料4: [オンライン申請システムの活用状況チェック表のイメージ](#)
- 附属資料5: [第三章、第四章の論点構造の「見える化」](#)

i-Japan戦略2015の重点分野

三大重点分野

電子政府・電子自治体

- 電子政府の推進体制の整備 (政府CIOの設置など)、過去の計画のフォローアップとPDCAの制度化
- 「国民電子私書箱(仮称)」を、広く普及させ、国民に便利なワンストップ行政サービスの提供や「行政の見える化」を推進

政府・自治体の電子化

医療・健康

- 地域の意思不足等の問題への対応
 - ・ 遠隔医療技術の活用
 - ・ 医師等の技術の維持・向上
 - ・ 地域医療連携の実現 等
- 日本版EHR (仮称)の実現
 - ・ 医療過誤の減少、個人の生涯を通じた継続的な医療の実現
 - ・ 健康情報の疫学的活用 等

医療機関業務の電子化

教育・人財

- 授業でのデジタル技術の活用等を推進し、子供の学習意欲や学力、情報活用能力の向上
 - ・ 教員のデジタル活用指導力の向上
 - ・ 電子黒板等デジタル機器を用いたわかりやすい授業の実現 等
- 高度デジタル人財育成

学校の電子化

出所)「i-Japan戦略2015」(IT戦略本部 IT戦略の今後の在り方に関する専門調査会、2009年7月)

どの分野をICTによる革新の重点分野にするか

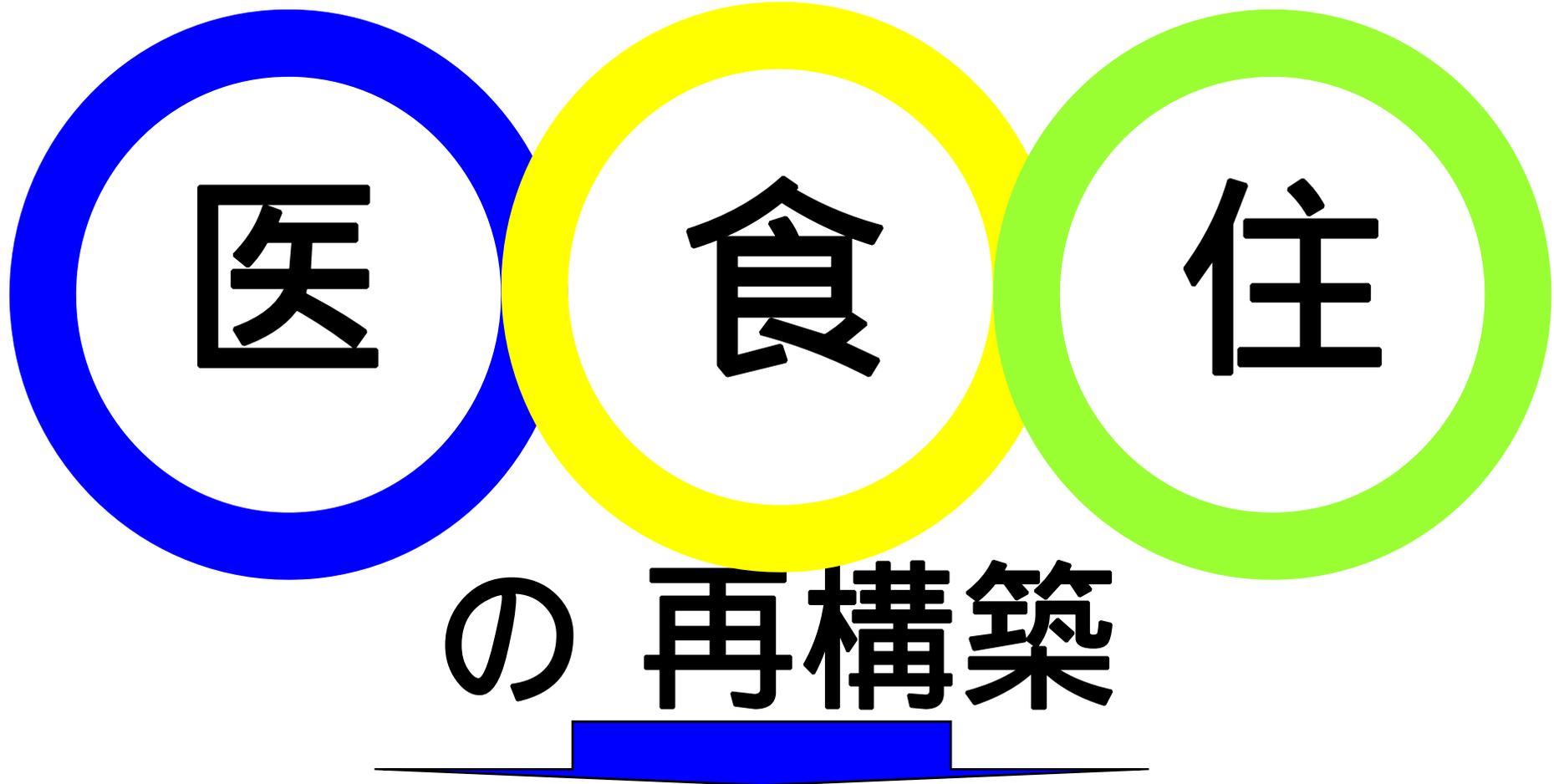
重点分野：電子政府・医療・教育
ICT利活用革新

パラダイム
転換

ICT利活用の動機付けの弱い
中間組織の効率化より
最終利用者のための価値創造

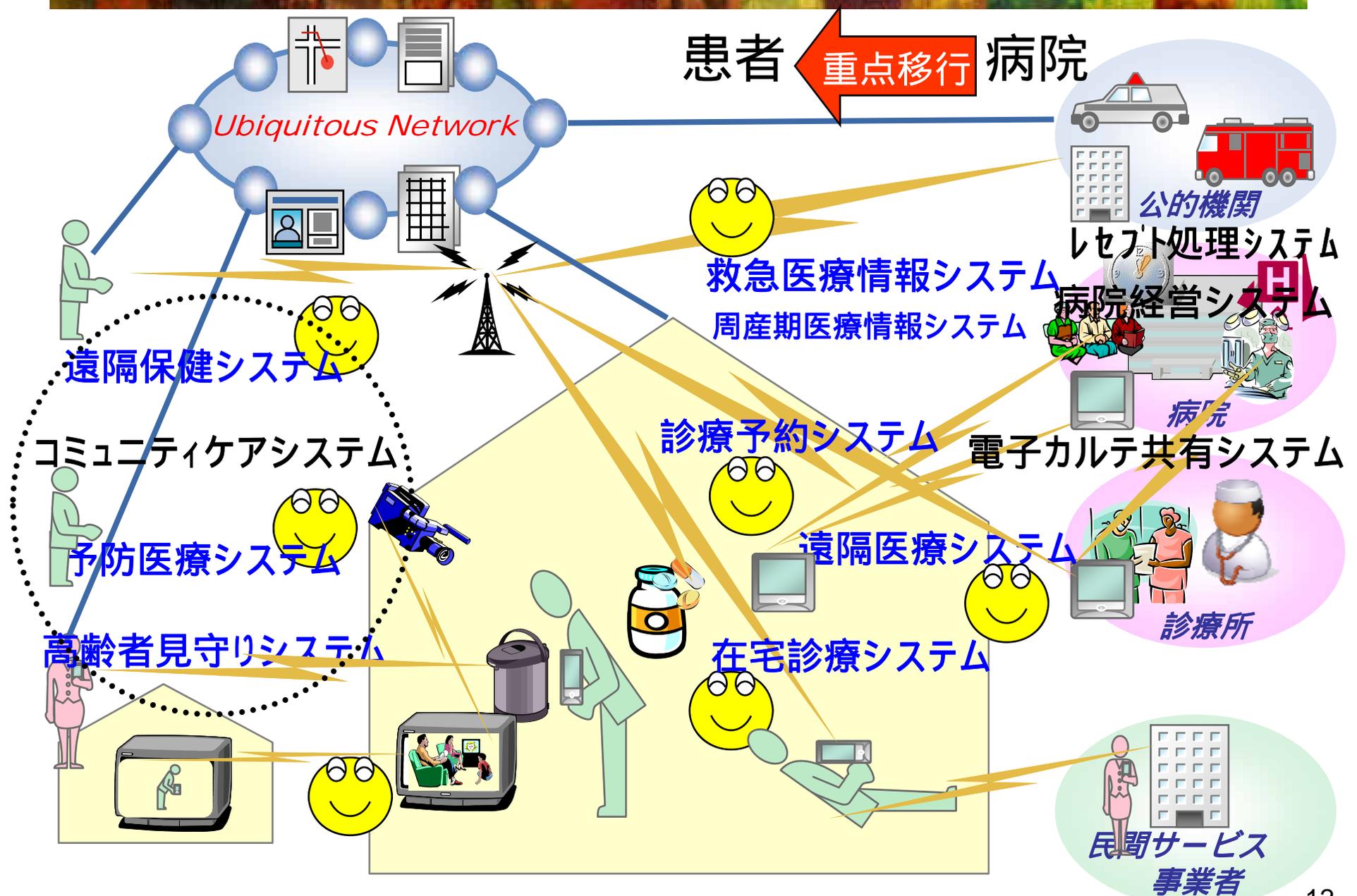
よりユーザー（利用者・国民・人間）中心
より需要創出的・雇用創造的
社会システムの基本設計概念変革志向
省庁横断的アプローチ
技術と制度の一体的解決が必要

ICT利活用による「医・食・住」の 日本型21世紀社会システムの確立

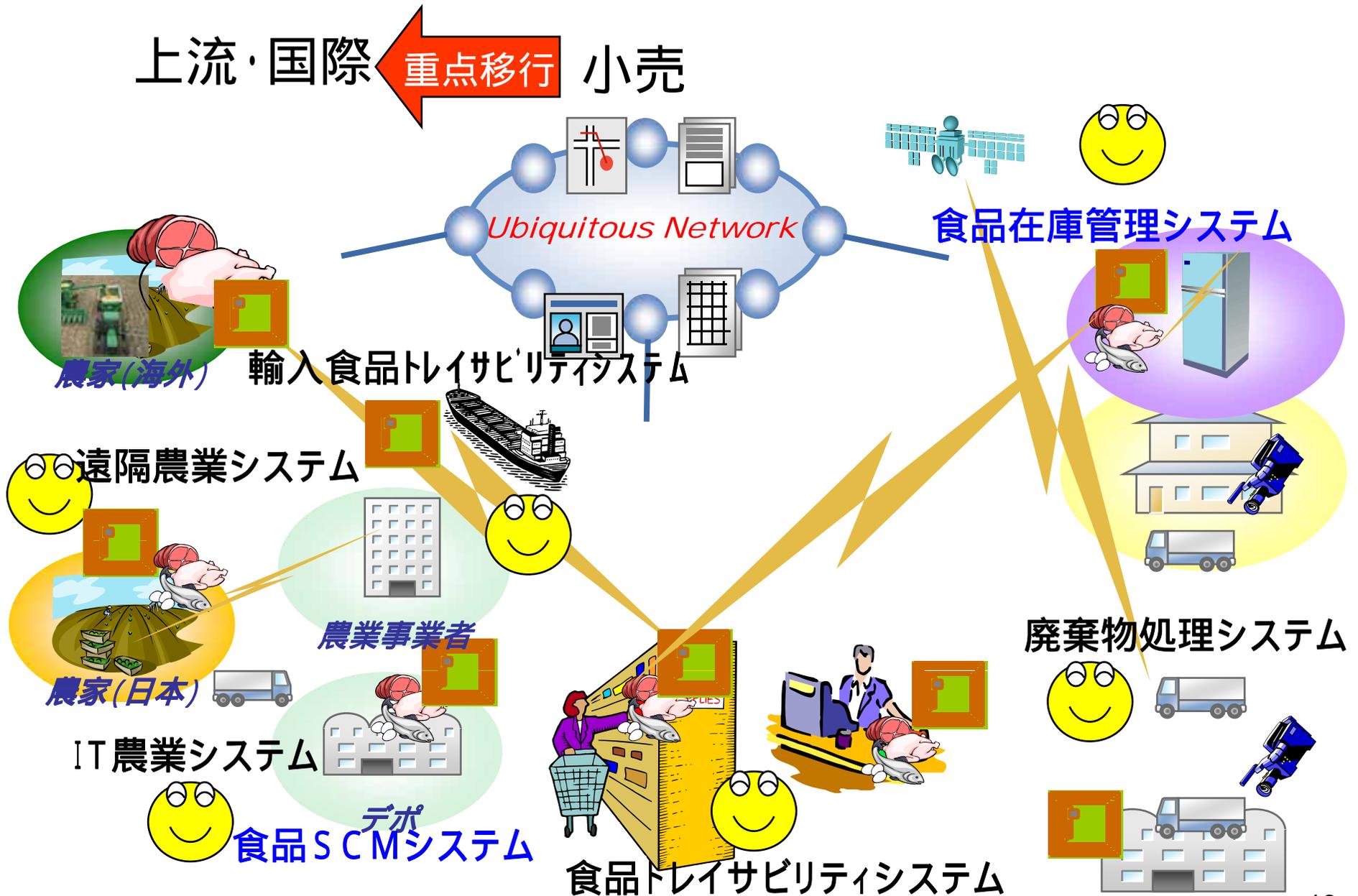


生活者に持続可能で安全安心な生活をもたらす21世紀社会システム
企業・産業に需要創出的・雇用創造的な新産業の振興

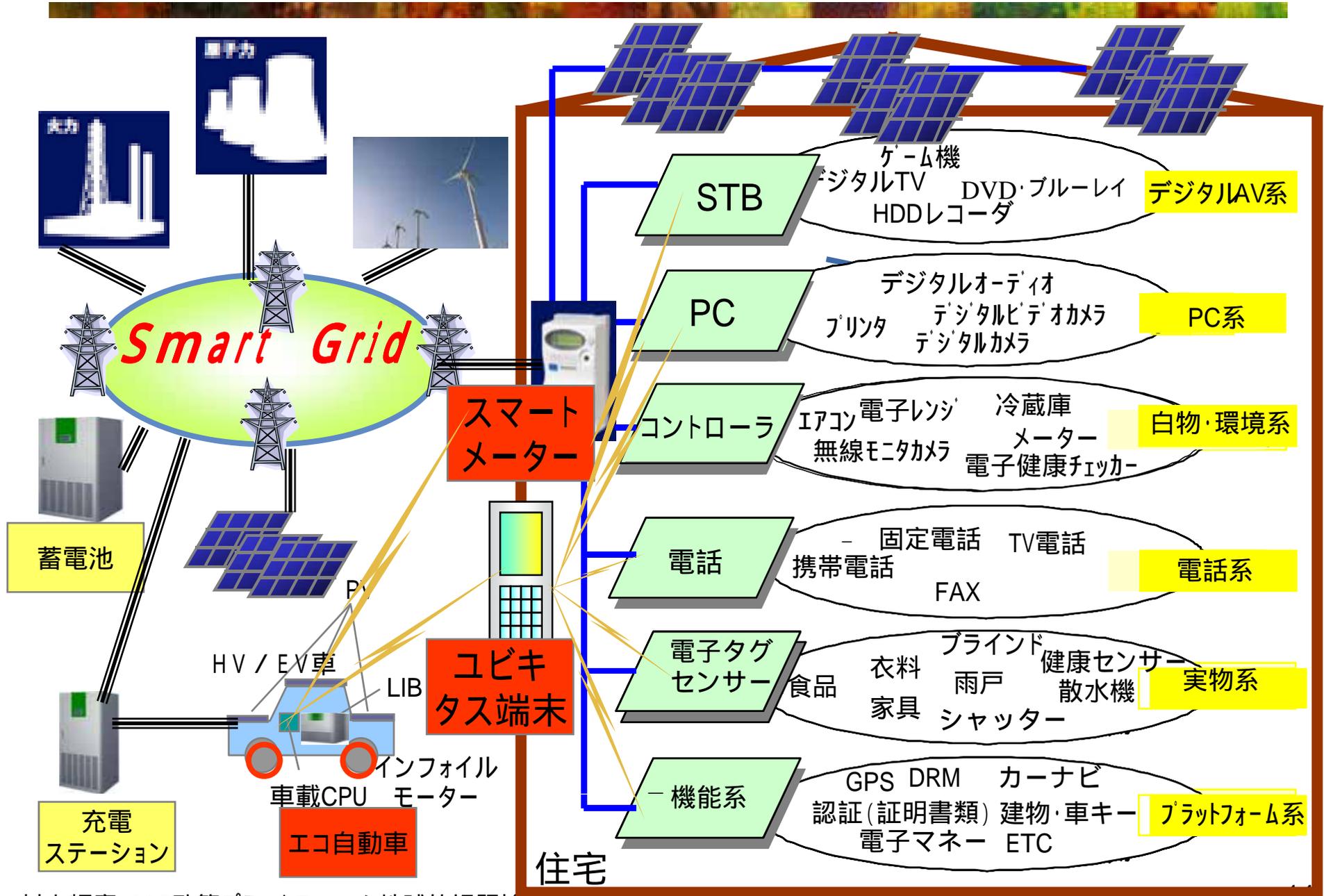
例：21世紀型「医」の安全安心システム



例：21世紀型「食」の自立的高信頼システム

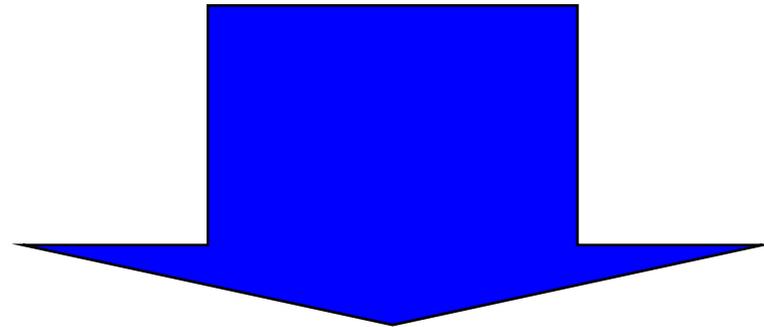


例:21世紀型「住」のサステイナブルシステム



どの分野をICTによる革新の重点分野にするか

重点分野：電子政府・医療・教育
ICT利活用革新



重点分野：医・食・住の21世紀型
社会システムの確立



グローバル時代におけるICT政策
に関するタスクフォース
地球的問題検討部会

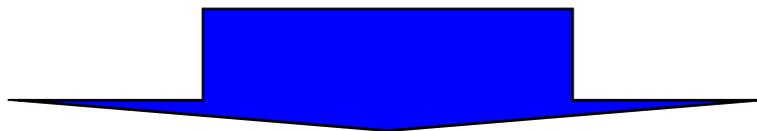
地球的問題検討部会におけるアプローチ

1. ICT政策についての現状認識
2. 「医・食・住」の21世紀型社会システムの確立 (by the ICT)
3. オープン・グローバル・ユニバーサル (of the ICT)
4. 産官消関係 - 産消融合・官消同期 (for the ICT)

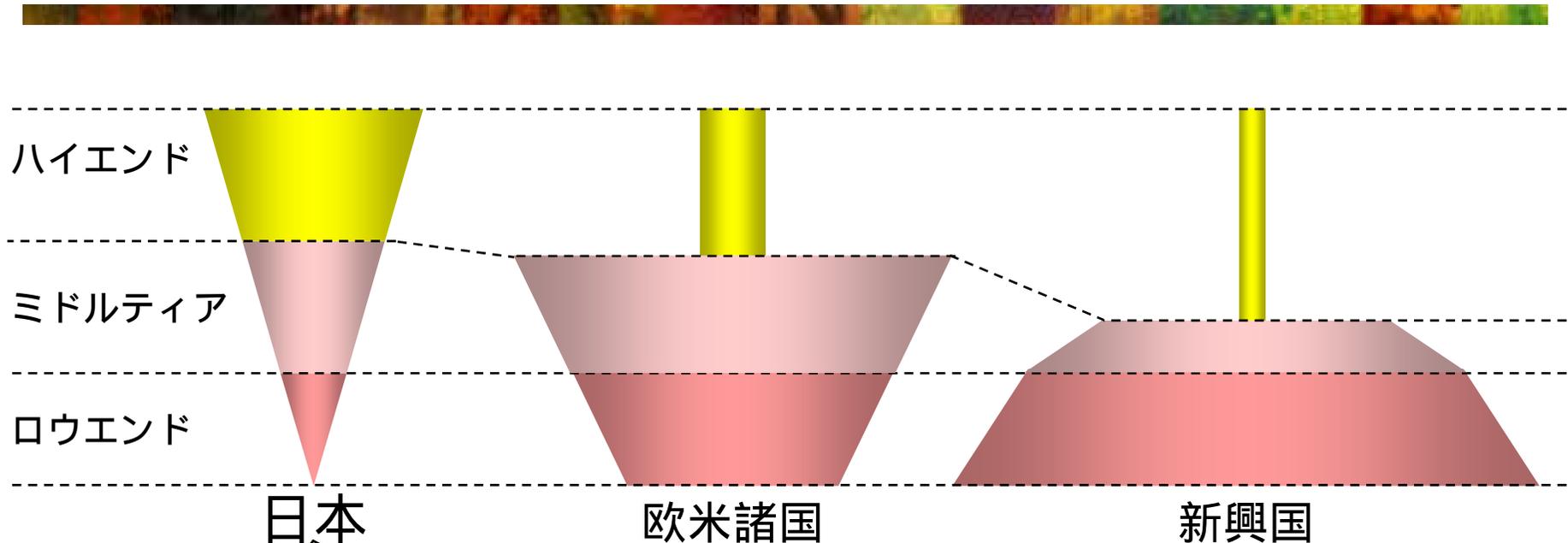
ICT産業の革新の方向性



クローズド・ドメスティック・ガラパゴス



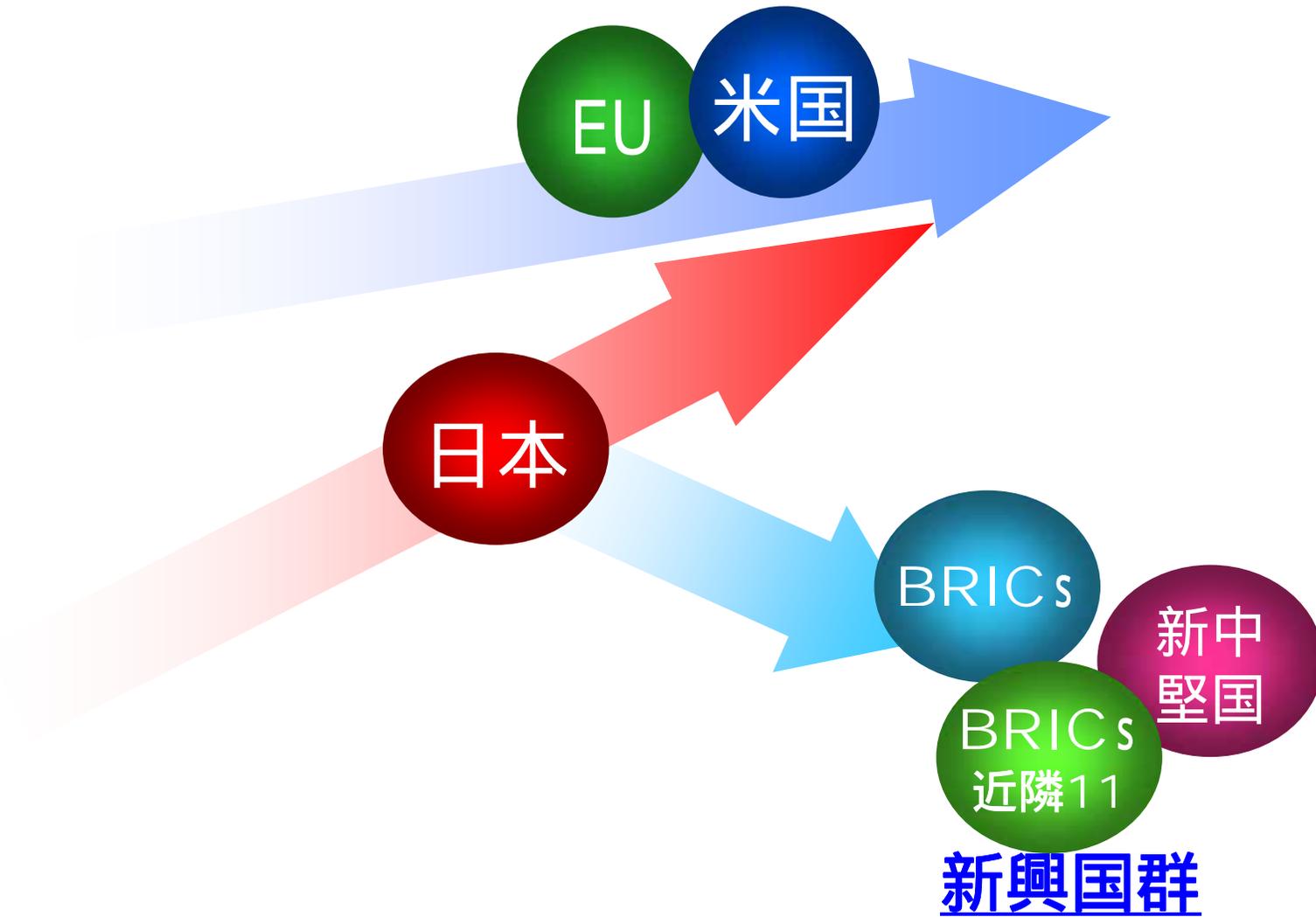
日本のICT産業のガラパゴス化



BB化・ユビキタスネットワーク化の進展
国際標準における孤立
強い国内志向
ほどほどに大きい国内市場
洗練された厳しい消費者
キャリア主導の産業構造
機器・サービスのモジュール化、プラットフォーム化の遅れ

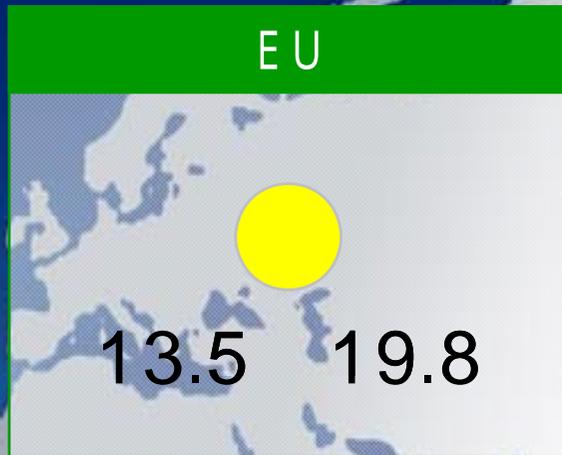


先進国市場の成熟と低所得水準で急成長する新興国群

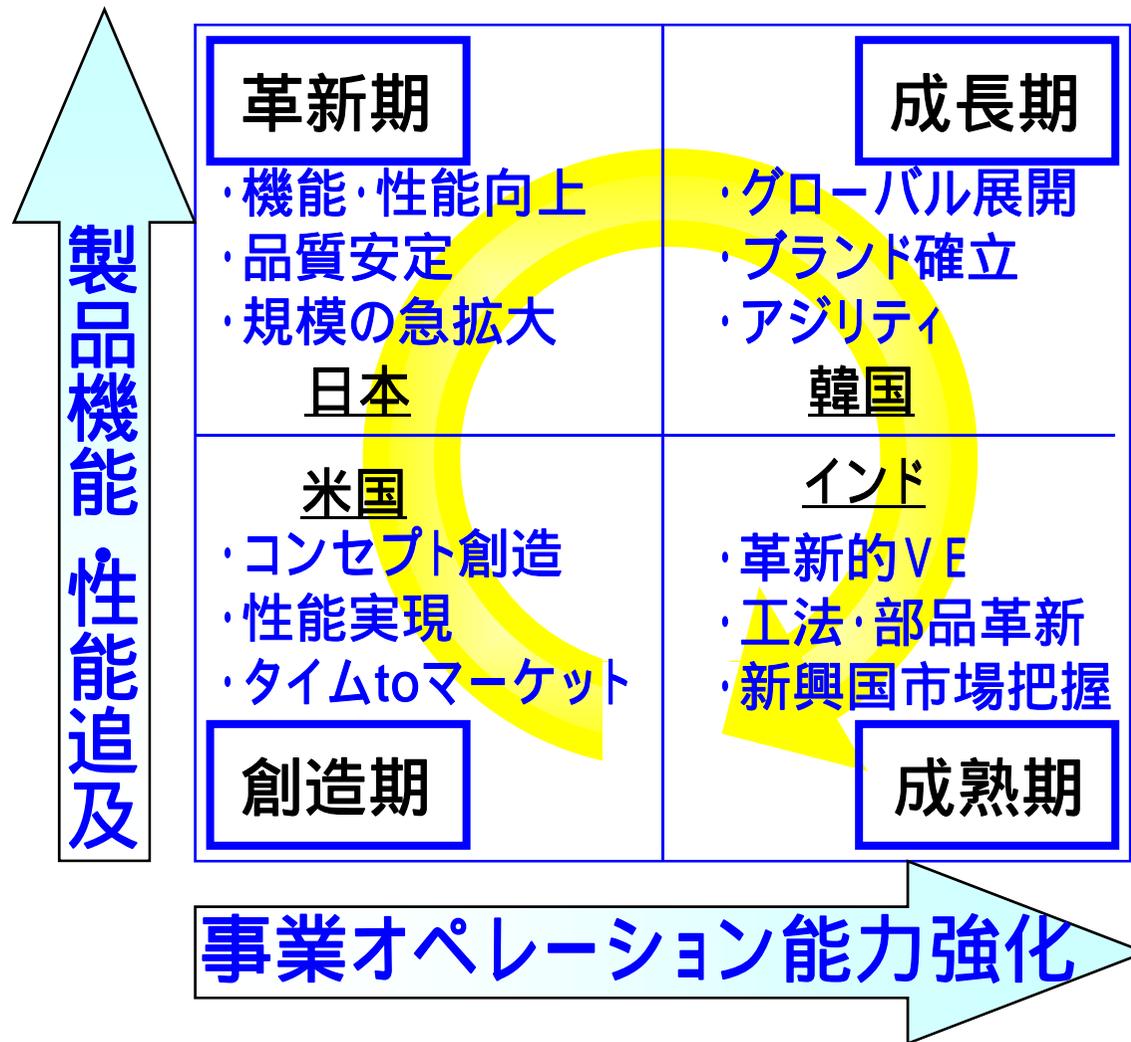


趨勢成長ケースでは2035年にはBRICsは日米欧のどこよりも大きな経済になる

2035年



グローバル環境での企業戦略：ユニバーサル商品



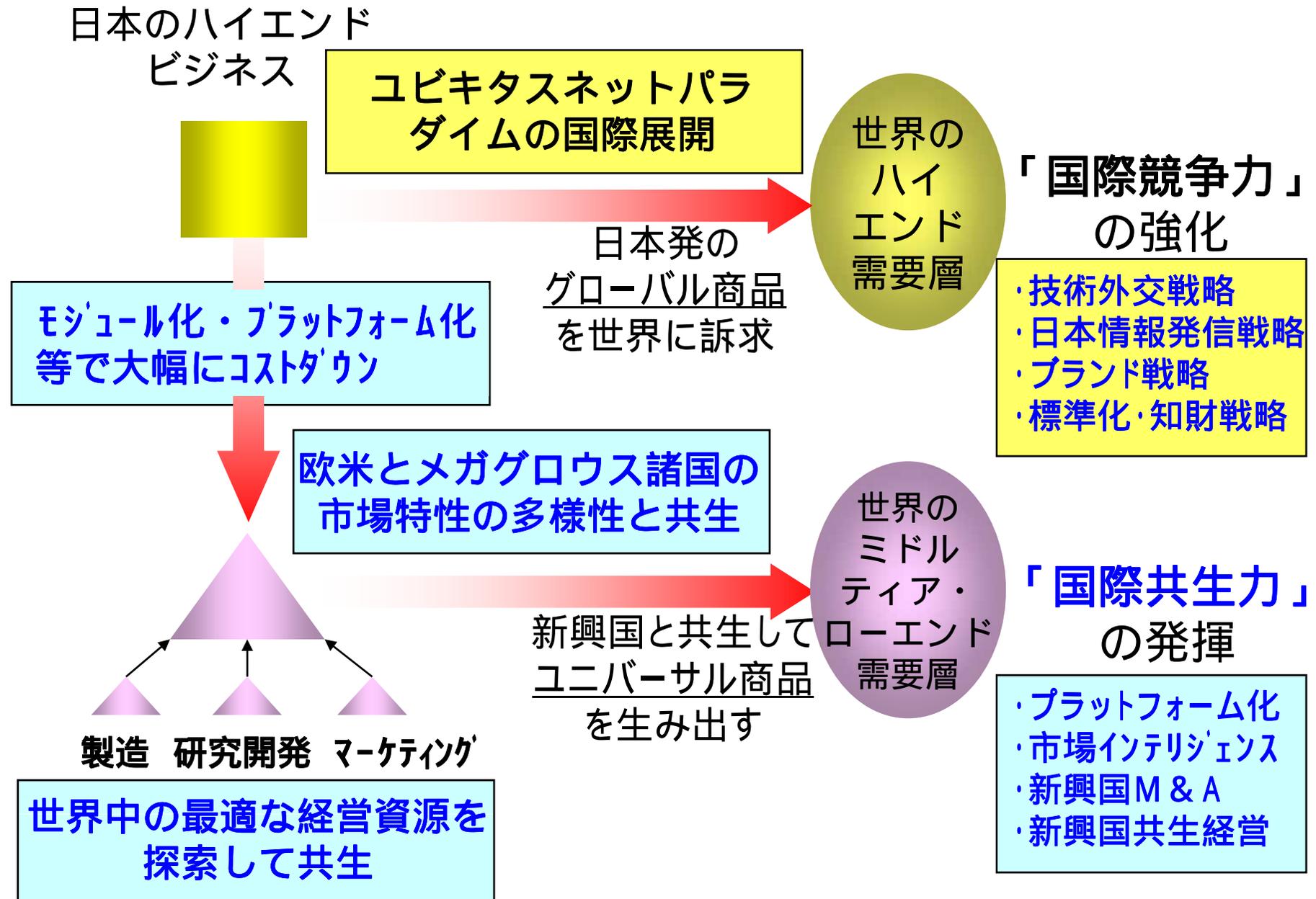
サムソンのテレビ



TATAのナノ

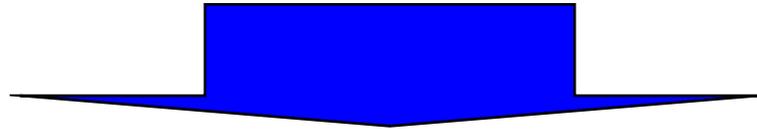


ICT産業のグローバル戦略の二つの方向



ICTの革新の方向性

クローズド・ドメスティック・ガラパゴス



オープン・グローバル・ユニバーサル

- 「常にグローバル市場から発想する」
- 「日本発のグローバル商品の世界に訴求」
- 「新興国と共生してユニバーサル商品を生み出す」



グローバル時代におけるICT政策
に関するタスクフォース
地球的問題検討部会

地球的問題検討部会におけるアプローチ

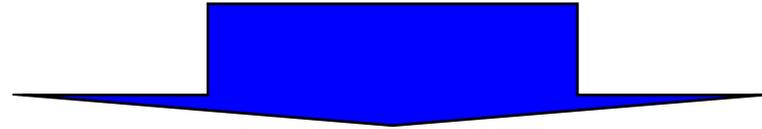
1. ICT政策についての現状認識
2. 「医・食・住」の21世紀型社会システムの確立 (by the ICT)
3. オープン・グローバル・ユニバーサル (of the ICT)
4. 産官消関係 - 産消融合・官消同期 (for the ICT)

ICTのための革新: for the ICT



これまでの産主消従・官主消従

産官消関係：産消逆転・消主官従



個人に対して企業の情報システムは「産消逆転」

企業の情報 システムの 利活用環境

- ・セキュリティ対策
- ・個人情報保護対策
- ・内部統制、BCP、SAM
- ・省エネ、グリーン対策
- ・コスト削減と開発スピード向上
- ・頻繁な統合・分割対応
- ・アウトソーシング、海外活用

個人の情報 システムの 利活用環境

- ・有線は100メガのFTTHの利用可能
- ・無線は40メガ
- ・2テラのHDD
- ・カラープリンター、携帯ビデオ端末
- ・1kg以下のモバイル、掌端末
- ・テレビ受信、ビデオ電話
- ・GPS、電子マネー、指紋認証

個人に対して政府の情報システムは「官消逆転」

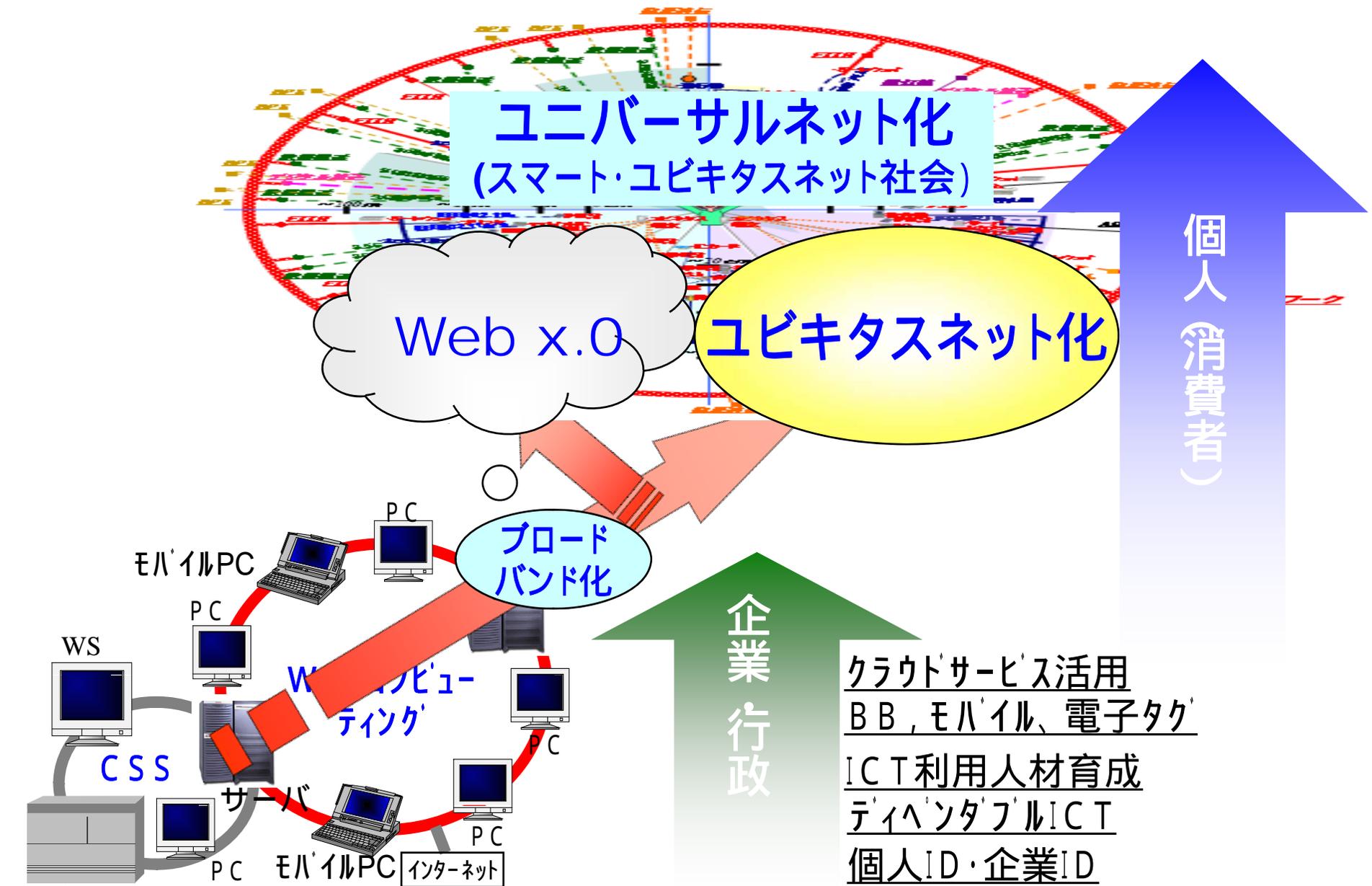
官庁の情報システムの利活用環境

- ・レガシーマイグレーション
- ・コスト削減と開発スピード向上
- ・調達改革
- ・最適化計画
- ・セキュリティ対策
- ・プライバシー保護対策

個人の情報システムの利活用環境

- ・有線は100メガのFTTHの利用可能
- ・無線は40メガ
- ・2テラのHDD
- ・カラープリンター、携帯ビデオ端末
- ・1kg以下のモバイル、掌端末
- ・テレビ受信、ビデオ電話
- ・GPS、電子マネー、指紋認証

ICTパラダイムの進化と個人・企業・行政



ユニバーサルネット化
(スマート・ユビキタスネット社会)

Web x.0

ユビキタスネット化

ブロード
バンド化

個人
(消費者)

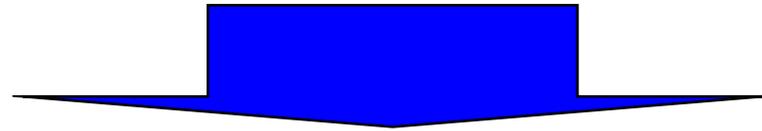
企業
行政

- クラウドサービス活用
- BB, モバイル, 電子タグ
- ICT利用人材育成
- ディメンダブルICT
- 個人ID・企業ID

メインフレーム

ICTのための革新: for the ICT

産官消関係：産消逆転・消主官従

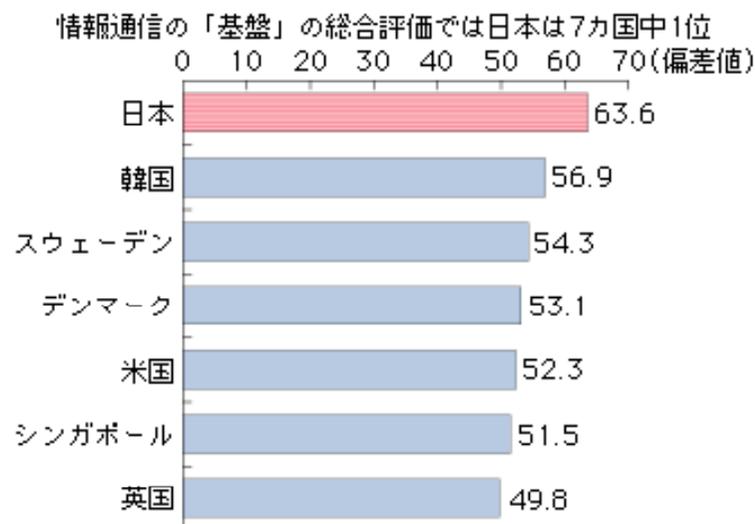


産官消関係：産消融合・官消同期

利用者としての産・官の主体的なイニシアティブ

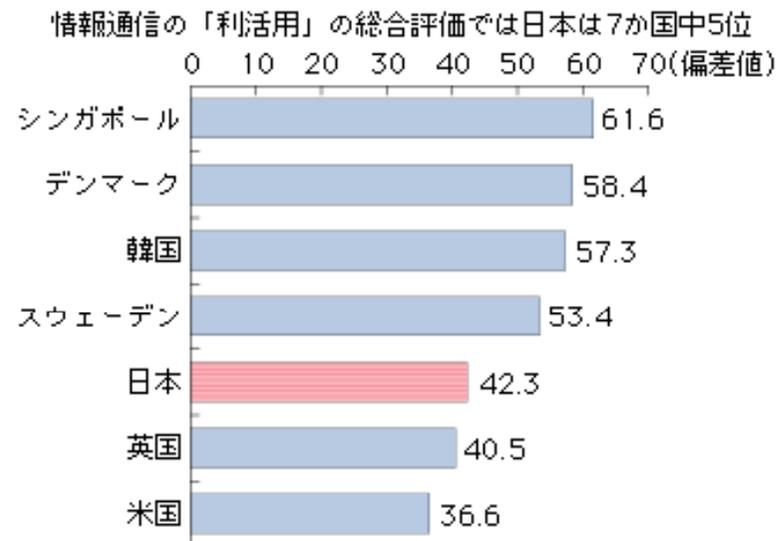
世界最先端のICTインフラの追求が前提

「基盤」に関する国際ランキング



総務省「ICT基盤に関する国際比較調査」(平成21年)により作成

「利活用」に関する国際ランキング



※ 各分野の利用率を合計した平均値から偏差値を算出

(出典)総務省「ICT関連動向の国際比較調査」(平成21年)

引き続き世界最先端をめざすICTインフラの整備の推進が必要

ネットワークインフラの整備の方向性

| | e-Japan戦略 (2001-2005年) | IT新改革戦略 (2006-2010年) | ？ (2010-2015年) |
|---------------|---------------------------|-------------------------|-----------------------------------|
| 固定系 ネットワーク | ADSL / 光ファイバー | ブロードバンドゼロ 地域解消 | NGN、新世代ネットワーク (クラウドコンピューティング) |
| 移動系 ネットワーク | 携帯電話ネットワーク | ブロードバンド ワイヤレス | ワイヤレスフロンティア (電波新産業創出) |
| 放送系 ネットワーク | 多チャンネル | 地上波デジタル化 | IPTV / ネットTV, コンテンツ, デジタルサイネージ |
| 交通系 ネットワーク | VICS カーナビ | ETC | ITS / AHS・フローカー EVネットワーク |
| 実物系 ネットワーク | バーコード | 電子タグ | センサーネットワーク ネットワークロボット |